

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

松戸名産二十世紀梨

2022
September 9

ガバナー月信 Vol.3



IMAGINE ROTARY

Rotary District 2790



発行/2022年9月1日
COPY FOR MEMBERS

To Club Presidents and Secretaries in District 2790 (CHIBA)

地区スローガン

「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、 千葉から世界を変えていこう！」

国際ロータリー第2790地区 2022-23年度

ガバナー 小倉 純夫(松戸RC)



(習志野中央 RC 公式訪問)

ロータリーに研修は必要か？

1. 今月は「基本的教育と識字率向上月間」です。識字率向上というと、外国の問題で、日本とは関係ないと思われる人が多いのではないのでしょうか。しかし、日本の15歳の若者の「読解力」は世界15位に低下し、2012年からの3年ごとの調査では、低下し続けているとのこと。 (OECDの2018年調査)。そうだとすると、日本でも今後若者に正しい日本語を理解させ、表現できるような教育が必要になりそうです。

2. ところで、「基本的教育」というと、ロータリーでも教育(研修)は必要でしょうか。何故、私がこのようなことを書こうと思ったかについて説明します。本年4月に行われた地区研修・協議会において、私はクラブにおける研修の充実の必要性を説きました。そうしたところ、あるクラブの会長エレクトから「ロータリーに研修はそぐわない」との発言がなされました。私の説明に対する意外な反応に驚くとともに、その方に発言の真意を尋ねました。彼は、「ロータリーの例会に出席していれば、改めて研修等せずとも

ロータリーを理解できるはずだ」と答えました。実際に、クラブの例会に出席しているだけで、ロータリーを理解し、ロータリーの新しい情報も得られるのであれば、それにこしたことはないでしょう。しかし、実際には1時間弱の例会において、食事を摂り、クラブ会長の挨拶、幹事報告、卓話、その他行事等が行われ、その中でロータリーの何たるかを理解し、その目指すものを理解するのは不可能ではないのでしょうか。平成17年に実施された全国のロータリアンに対するアンケートでも「自己研鑽と学習・成長の機会」がロータリーに対する1番強い要望でした。我々ロータリアンは、何のために、何を目指してクラブに入会したのかを考えると、それは「自己の成長の機会」ではないのでしょうか。そして、そのためには、例会への出席は勿論、他のあらゆる機会に尊敬できる先輩や友人との交流(親睦)や研修によって、それが可能になるのではないのでしょうか。

3. 私は、ガバナー補佐になるまで、地区委員として地区に参加したこともなく、また、松戸RC以外の例会にメイクアップしたこともなかったので、RIの提唱する、中核的価値観、戦略的優先事項、ビジョン声明等についてはほとんど知りませんでした。また、この20年近くのRIの変化についても、なんとなく以前のロータリーとは変わってきたという実感はありましたが、それが具体的にどのようなものかについての正確な知識はありませんでした。RIの最近の動向について、何も知らなくても職業奉仕の考え方や奉仕の理念が何であるかを理解していれば、ロータリアンとしては充分だと思ってきました。しかし、折角ロータリーという世界的な組織に入ったのですから、それが目指すべき方向やなぜそのような変化が生じているのかを正しく認識することによって、現在のロータリー活動を正しく理解できるのではないのでしょうか。

私はそのためにも、クラブにおいて、会員のロータリーに関する研修は勿論、その充実は是非とも必要であると確信するものです。



就任のご挨拶

国際ロータリー 第2790地区
2022-23年度
職業奉仕委員会 委員長
小野塚 雄 (松戸東 RC)

今年度小倉ガバナーは「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう！」「ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良いことをしよう！」をスローガンとし、さらに三つの「元気なクラブ」の定義をされています。

二つのスローガンと三つの定義を、ロータリーの基本である、「親睦」と「奉仕」に当てはめてみます。

親睦を活発にする原点は小集団活動だと考えます。それはクラブ内の各委員会が積極的に会合を持ち、人間関係を築いて行く事から始まると思います。それがクラブ全体に波及することで元気なクラブになっていくのではないかと考えています。

奉仕とは、唯一ロータリーにしかない職業奉仕の

理念を理解することだと思います。ロータリアンは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりであり、職業を通じて社会に奉仕するという独自の考えを持っています。職業を奉仕の手段として、奉仕の実践を行う事で、利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に存在する矛盾を和らげる哲学として「超私の奉仕」があり、これは「最も多く奉仕する者、最も多く報いられる」という、実践倫理原則に基づくものです。

職業奉仕の重要性を歴史から紐解き、親睦と奉仕の側面から各クラブ会員に問題意識をもって頂くよう、あらゆる機会を利用して、その啓蒙活動をしてまいります。



ロータリーを知り、 クラブを元気に！

国際ロータリー 第2790地区
2022-23年度
ロータリー情報委員会 委員長
山下 清俊 (市川東 RC)

ロータリー情報委員会は、皆様のクラブが元気なクラブになるために、研修リーダーのもと、職業奉仕委員会、ロータリー研修委員会と連携して、クラブを支援する活動をして参ります。クラブが元気になるためには、会員同士が親睦を深め、信頼感を育むことが大切です。その場は例会であったり、奉仕活動の実践であったりします。つまり「親睦と奉仕」というロータリーの原点となる活動をしっかりとすることが元気なクラブへのパスポートということになります。更に、その活動の源となる基本的な理念である「超私の奉仕」であり、「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」などがクラブ内で共有化されていることが必要です。そして、今後のクラブの発展のためには、世界のロータリーの現状と今後の計画を理解すること、それに対して、自クラブがどうあるべきか

を考えることが必要となってきます。

そこで、皆様がロータリーの原点と現在、そして将来を考えるためのロータリー情報を様々な機会を通じてお伝えする、あるいはディスカッションのお手伝いを致します。10月に3委員会合同でのセミナーを開催し、原点の振り返り及び現状の把握と今後の方向性を考えていただくための情報提供をして参ります。また1月にはロータリーに関する講演会を開催致します。更には、各グループ主催の情報研修会でグループ毎のニーズに応じて支援をして参ります。また、各クラブの卓話等にもお呼び下さい。ロータリー情報の提供、そしてその情報に基づいた意見交換の支援等を行うことで、ロータリー情報委員会は皆様のクラブを支援して参ります。



就任のご挨拶

国際ロータリー 第2790地区
2022-23年度
ロータリー研修委員会 委員長
始平堂 玄昌 (千葉幕張 RC)

「縁起でもない」「おせっかい」な話です。

組織論を持ち出すまでもなく、組織崩壊は急激に起こるものではなく、内部の小さな違和感やほころびをきっかけにして進む傾向がある。一度崩壊してしまうと、これを立て直すことには多大な労苦が伴うものだ。クラブの崩壊を見たくない。危険な兆候を挙げてみる。

1. これはという会員が退会する。優秀な会員は組織の将来性を見抜く。
2. コミュニケーションの低下。一体感、信頼関係の喪失。
3. 会員の意欲の低下。ロータリー活動へのモチベーション低下。組織の活性化に消極的。
4. 責任感の欠けた会員の行動。組織力の低下。
5. 風通しの悪さ。雰囲気悪さ。

など、他にも色々兆候はある。気付かない、あるいは気付きたくないことばかり。

クラブ崩壊したくない。させない。

予防策はあるのか。

1. 組織の現状を知る。
2. 複雑な内部組織を変える。効率よく活動し、やる気のある会員をへこませない。
3. 会員同士が情報共有しやすくする。
4. 会員同士の信頼関係をつくる。意見交換。情報共有の場をつくる。助け合う環境。
5. ロータリアンであることに誇りと喜びを持てるクラブの目的、目標を明確にする。

などなど、挙げればこれもたくさんあるが、ようはやるか、やらないかだけ。やってみましょう、クラブの現状分析。取組みましょう、クラブ活性化。会員が一体となり取り組むクラブ中長期計画立案。これは、クラブ崩壊予防策の妙案。なぜなら、うちのクラブでやってみたらうまくいったからです。

縁起でもない、おせっかいな話でした。

なお、動画(6分)で今年度の活動概要を紹介しています、ご覧下さい。



動画はこちらから



就任のご挨拶

国際ロータリー 第2790地区
2022-23年度
広報・公共イメージ向上委員会
委員長
日暮 幸信 (松戸 RC)

小倉ガバナーはロータリーの広報と公共イメージの向上について、クラブ会員個人あるいはクラブ単位での地域や世界における活動が効果的に周知され、ロータリーに対するイメージの向上を図ることにより、クラブや会員の活動が周囲に認められ、そのことによって次の活動へのモチベーションにつながっていくとお話しされておりました。

ところで、私たち自身この第2790地区内の各クラブが行っている活動をどれだけ知っているのでしょうか？一般の方が閲覧できるようにご自身のクラブの活動を発信しているクラブはまだまだ少ないように思います。広報・公共イメージ向上委員会では、第2790地区内の多くのクラブが行っている活動を共有し広く発信できないかと考えています。LINEの公式アカウントを利用した広報では、7月より内容を変更しLINEで友達となった一般の方には地区HPに掲載されているクラブの活動の予定が閲覧できるように

致しました。また、地区内各クラブの活動予定をチラシ形式での提出を依頼しているのは、冊子としてまとめ発信できるようにしていきたいと考えているからです。昨年成田山新勝寺で行われました世界ポリオデー祈願プロジェクトは、大きなインパクトがあったと思います。今年度のポリオデーのイベントとして、10月23日に成田空港を舞台にポリオプラス委員会を中心となってクラブ単位、グループ単位、または個人でも参加できるような枠組みで現在計画しているところがございます。多くの皆様にエンドポリオのTシャツを着てご参加頂くことは、ロータリーの仲間との信頼をつなぎ千葉から世界を変えていこうという、小倉ガバナーの地区スローガンを実践していくことでもあると思います。こういったポリオデーのイベント、そして各クラブの活動予定も併わせて発信していけたらと思っております。どうぞよろしく願いいたします。



フェロシップ・ 親睦活動委員会 活動方針

国際ロータリー 第2790地区
2022-23年度
フェロシップ・親睦活動委員会
委員長
渡辺 智志 (茂原 RC)

小倉純夫ガバナーは、当地区スローガンとして「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう！」を掲げ、その趣旨として仲間同士の信頼(fellowship)を繋ぎ、千葉から世界を少しずつでも変える奉仕活動(service)を起こしていこうと説明されています。

我々フェロシップ・親睦活動委員会は、小倉ガバナーの意を酌み、フェロシップ・親睦の活性化が会員基盤の維持・向上、質の高い奉仕活動につながる重要な要素であると確信し、これからの1年間を元気に活動していきたいと思えます。

昨年度から当委員会で皆様のご協力を得て準備してきました「CHIBAロータリーマップ」が地区ホームページに掲載されました。出先でのお店選び、他クラブへのメイクアップ、会員相互の親睦交流に利用

していただければと思います。当委員会では、地区会員の皆様に広くこのマップをご案内し、多数の事業者様にご登録いただくよう活動して参ります。それと同時に、より利用しやすいマップに適宜改善していきたいと思えますので、皆様のご意見を頂戴したくお願いいたします。

また、当地区には、4つの同好会(野球リーグ、二輪走友会、女性会員の交流会、スリランカクラブの会)が存在しています。当委員会では、その同好会活動をサポートしつつ、活動内容を地区会員の皆様に広く知っていただけるよう活動して参ります。

どんな時でもどんな場所でも、ロータリアン同士が「やあ」、「おい」と声を掛け合い、手を振り合える、そんな地区にしていきたいと思えますので、ご協力の程お願いいたします。



就任のご挨拶

国際ロータリー 第2790地区
2022-23年度
RLI 推進委員会 委員長
周藤 行則 (浦安 RC)

RLIとは(Rotary Leadership Institute)ロータリー・リーダーシップ研究会の略称です。RLIは、質の高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化するための、世界524地区中200地区強で実施されている、草の根リーダーシップ開発プログラムです。国内では、34地区中29地区で実施され、第2800地区山形県、第2780地区神奈川県西部、第2660地区大阪北部、第2690地区岡山・島根・鳥取、第2670地区愛媛・香川・高知・徳島でも、着々とRLI実施に向けて準備中です。RLIの目的と使命は、将来、クラブのリーダーシップを進める事が出来る潜在能力を有するロータリアンを見出し、ボランティア組織にとって重要な

リーダーシップ技能と質の高い教育を提供することです。私たちが、ロータリアンとして成長し、充実した活動をするためには、ロータリアン一人一人がロータリーを本当に理解し、自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションや活動を活発にして、クラブ活性化につなげて行く必要があります。他地区では会長エレクト、次年度幹事、地区委員長予定者、地区委員予定者、ガバナー補佐候補の研修の一環で実施し、3月のPETS(ペッツ)迄に修了するスケジュールで実施されており、当地区でも、スケジュール調整し、更に有効な学習手段となるよう検討してまいります。



就任のご挨拶

国際ロータリー 第2790地区
2022-23年度
社会奉仕委員会 委員長
原 幸司 (富里 RC)

2022-23年度ジェニファーE.ジョーンズRI会長の「IMAGINE ROTARY」というRIテーマを受けて、小倉ガバナーは「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう!」という地区スローガンを掲げられました。ロータリー活動によって培われた仲間同士の信頼を繋ぎ、千葉から世界を変える奉仕活動を起こすという趣旨であり、より住みよい社会や世界を想像しながら行動し、地域に根差した奉仕活動を実践することにより、社会に変化をもたらし、それが世界を変える一歩になると確信するとされています。

この方針を受け当委員会では、これまで地域に根差した奉仕活動を実践されている各クラブの皆様や地区委員会との繋がりを大切に、クラブの活性化のお役に立てる活動をして参ります。

そのために、既にアンケートへのご協力はいただいておりますが、各クラブでの社会奉仕活動の情報を収集させていただき、これらを皆様に発信することで、各クラブの社会奉仕活動に役立てていただきたいと思いますと考えております。

また、地域のニーズに応じた社会奉仕活動が、より活発に実行されるためにロータリー財団委員会と連携し補助金の積極的な活用を推進し、社会奉仕を通じたクラブ活性化のご支援をさせていただきます。

社会奉仕活動を通してクラブが活性化し、より楽しいロータリーを目指すために、サポートさせていただきます。委員会メンバー一同、楽しみながらも懸命に努めて参りますので1年間よろしくお願い申し上げます。



就任のご挨拶

国際ロータリー 第2790地区
2022-23年度
国際奉仕委員会 委員長
高田 新也 (柏 RC)

小倉ガバナーは地区テーマを「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう!」と発表され、第2テーマにも「世界で良いことをしよう!」とあります。ともに国際奉仕におおいに関係するテーマだと思います。これらを踏まえ、当国際奉仕委員会ではすでに実績のあるクラブの国際奉仕活動や関連する情報を共有し、活動の計画立案のサポート等お手伝いをさせていただきます。

また奉仕プロジェクト統括委員会始め、補助金プロジェクト委員会、奨学生・学友小委員会と横断的に協力し、補助金を利用した国際奉仕活動の支援を各クラブへ積極的に推進して参ります。国際奉仕活動には時間、資金、人手、信頼できるパートナー等が不可欠なため難しい面もあり、実施したことがないクラブもあります。この2年間新型コロナウイルスの影

響により、現地調査や渡航ができず、国際奉仕の計画、補助金申請はしたけれど、最終的に断念するクラブもあります。しかし、この状況下でも工夫して国際奉仕を行っているクラブもありますし、他地区の国際奉仕の情報もご紹介できればと思っています。HPアップも考えているので、ご協力よろしくお願い致します。

国際奉仕は援助を受ける側のみが恩恵を受けるわけではなく、奉仕に参加した私たちロータリアンも困っている方々の喜ぶ姿に触れることにより大きな感動という恩恵を受けます。世界には貧しく、困っている人達がたくさんいます。我々は第2790地区の各ロータリアンの方がイマジンし、世界で良いことをしようという活動を支援していきます。どうぞ1年間よろしくお願いいたします。



就任のご挨拶

国際ロータリー 第2790地区
2022-23年度
青少年奉仕・地区学友会委員会
委員長
佐藤 康弘 (千葉 RC)

ロータリーのプログラムを経験したロータリー学友 (ROTEX、RYLA 経験者、ローターアクト、及び財団奨学生・学友、米山奨学生・学友等)を中心に地域社会に向けた奉仕活動を展開すると共に、各セクションの青少年関係の事業に対して互いの協力を図る事を目的に活動してまいります。近年はコロナによる事業活動の制限や渡航、交流が困難になりましたが、今年度はこの2年間の交流が困難だった時間を取り戻す期間としてデジタルとリアルを組み合わせた運営を心がけ、ロータリー学友 同士が横の繋がりを取り戻し、学友とロータリアンの関わりを増やし、共に奉仕活動やイベントの交流が活発にできるような運営を心がけていきたいと考えます。

「第2790地区ロータリー学友連絡協議会」を運営し、各学友とクラブとの連携を図り「ロータリー学友と繋がる交流会」を開催したいと考えております。各クラブの奉仕プロジェクトやイベントにロータリー学友にお誘いをお願い致します。その際には、私たち委員会に連絡をお願いいたします。

最後に、ロータリー希望の風奨学金は東日本大震災の被災遺児となった青少年たちが学業を継続できるように立ち上げられたプロジェクトです。青少年奉仕の観点からも、当委員会が支援してまいります。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。



就任のご挨拶

国際ロータリー 第2790地区
2022-23年度
ローターアクト委員会 委員長
野本 茂雄 (千葉 RC)

今年度よりローターアクターにも人頭分担金が発生しローターアクターもRIよりロータリーの一員と認められ自立した責任ある活動が求められます。RI、小倉ガバナーにも青少年の活動に関し積極的な自主的な活動とクラブの活性化を求められています。現状は少子化、長期化したコロナ禍の影響で活動が難しい時期もあり、会員が減少しています。早急な会員の増員が必要です。現在第2790地区ローターアクトクラブは6クラブあり、内2クラブは会員3名以下2クラブが10名以下で活動しており例会及び活動も難しいのが現状です。このような状況を地区全体のロータリークラブ会員にご理解頂きたく思います。現在のローターアクト会員の一人一人は、今後社会のリーダーとして活躍が期待できる魅力ある青少

年達です。その青少年の未来とクラブの為にもローターアクトクラブは一步ずつ前に進みより活力あるクラブになる必要があります。今年度より、ローターアクトクラブ独自の「持続性のある奉仕プログラム」を提案して活動を始められるようサポートします。そして他の青少年プログラム委員会と連携し、ローターアクトクラブの活動を提唱クラブ以外のクラブにも認知頂きご協力いただけるよう活動してまいります。これらの活動によりローターアクトの活動がより楽しく充実したクラブの活動を行う事が出来るようにしたいと考えます。その結果新しい会員の増強につながることを目的と致します。私は、まだまだ無知な事もありますが、どうぞご協力とご指導を宜しくお願い申し上げます。



就任のご挨拶

国際ロータリー 第 2790 地区
2022-23 年度
青少年交換委員会 委員長
田村 隆治 (八千代 RC)

青少年交換委員会では、交換留学を行っており、毎年数名の学生の派遣と受入れを行っております。本年度は当地区から5名の学生が世界へと飛び立っていきました。世界的にみると様々な影響で学生の数は少ないですが、ジャケットに交換バッジを一杯付けた多くの学生が親善大使として世界を駆けまわる日が来ることを心より願い、以下、4つの基本方針を掲げて活動してまいります。

○青少年の育成と世界平和を目的とし、日本を担う人材育成に努める

ロータリーの青少年交換プログラムでは、単に語学研修ではなく、派遣した学生が成長し、あるいは派遣先で交流を深めることで、信頼の輪が国内のみならず世界的に広がることで、世界平和を目指しています。

○インバウンドの帰国後の学生とも交流を深め、国

際交流を活発にする

受入学生が帰国した後も、派遣先と交流を続けることで、国際交流が活発になることを目指しています。

○青少年交換学友(ROTEX)の活動を促進し、活躍の場を広げる

帰国後は、青少年交換学友(ROTEX)として、後輩達の指導や受入学生のケアなどにあたっております。

○各クラブへの青少年交換事業の啓発

青少年交換事業について、本来はクラブ事業であることから、より多くのクラブに参画していただきたいと考えております。皆様のクラブに認知されるよう啓発活動にも努めたいと考えております。



就任のご挨拶

国際ロータリー 第 2790 地区
2022-23 年度
財団資金管理・寄付推進委員会
委員長
堀内 正人 (木更津東 RC)

当委員会は地区内ロータリアンの皆様からのロータリー財団への寄付推進を図る役割を担っております。

ロータリー財団への寄付分類は大きく分けると、年次基金寄付・恒久基金寄付・ポリオプラス・その他の基金に区分されます。この内、年次基金寄付はロータリー財団への寄付の基盤です。シェアシステムを通じて、寄付の50% (2024-25年度より47.5%) が地区の活動資金として3年後に地区に戻り、地区補助金やグローバル補助金などの原資となります。当地区では、会員一人当たりの年次基金寄付が150ドル以上、ポリオプラスに30ドル以上を目標としております。寄付ゼロクラブを無くすのは勿論のこと、更なる寄付の増進を図り、補助金を活用した事業をご検討いただき、クラブの活性化にお役立ていただければと思います。

当委員会ではMCRレポート(月次寄付レポート)

を用いて、月毎の寄付累計や地区内の寄付状況が把握できるよう、各クラブ財団委員長宛に配信いたします。また、ご寄付をいただいた方々へ感謝の意を表すべく、地区内表彰制度の実施も検討しております。

終息の見えない新型コロナウイルスの感染拡大や、ロシアによるウクライナ侵攻など世界は混沌の度合いを深めつつあります。ロータリーは国際的なネットワークを持つ奉仕団体です。私たちロータリアンは自分の属する地域や国だけではなく、世界に対して広く目を向け、本当に困っている人々の役に立てるよう奉仕することが求められているのではないのでしょうか。私たちロータリアンがすぐにでもできる奉仕の実践はロータリー財団への支援であると考えます。

ロータリー財団とその活動にご理解をいただき、寄付へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

就任のご挨拶



国際ロータリー 第 2790 地区
2022-23 年度
グローバル補助金プロジェクト委員会
委員長
神 正臣 (柏南 RC)

グローバル補助金は、ロータリーで用意されている補助金の中でもハードルが高いというイメージがあるように感じ、中々挑戦しづらい補助金の中の一つであると思います。

ですが、グローバル補助金事業は僅かなクラブ拠出金でも大きな成果を上げる事の出来る補助金でもあります。私は2019-20年度に自身の所属クラブである柏南RCがグローバル補助金を利用し行ったケニアの貧困地域に出産施設を寄贈するという『ケニアプロジェクト』を行い、それまで貧困家庭は自宅での出産を余儀なくされ、不衛生な環境下での出産により感染症等で亡くなる新生児を少しでも減らせる様に現地のロータリークラブであるティカRCと共に

補助金の申請を行った経験を活かし、今後利用されるクラブの申請が速やかにTRF(ロータリー財団)の承認を得られるよう共に考え内容の提案に努めたいと考えています。

グローバル補助金には申請期間を設けておらず通年にわたり申請する事が出来ます。現在は新型コロナウイルスの出現に加えウクライナ情勢など世界の状況は目まぐるしく変わっておりますが、貧困地域ではそういった時ほど我々ロータリーの力を必要としているのではないかと感じております。

地区補助金でも国際活動は出来ますが、より多く、大きな成果をもたらす事の出来るグローバル補助金の申請をお待ちしております。



クラブ活性化のための 地区補助金です

国際ロータリー 第 2790 地区
2022-23 年度
地区補助金プロジェクト委員会
委員長
平野 伸一 (成田コスモポリタン RC)

当地区内の各クラブや地区委員会から申請される地区補助金について担当させていただきます。

地区補助金とは、地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための短期的(一年間)で完結する活動を支援するための補助金です。まず、財団の使命(ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること)に当てはまる活動であり、かつ、ロータリアンが積極的に関与する活動であることが条件となります。そして、国内外でプロジェクトの活動が可能となっておりますが、ロータリー財団の定める「授与と受諾の条件」の遵守が求め

られています。詳細はロータリー財団ハンドブックをご一読下さい。

当地区での地区補助金申請率は82クラブのうち、ここ数年35%前後で推移しています。これは他地区と比較すると高い数字ではありません。各クラブが積極的に地区補助金をご活用され、IMAGINE ROTARY「より良い未来をイマジン(想像)し世界により良い変化を！」と共に、ロータリーの仲間と信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていきましょう。

地区補助金を活用し、クラブがより活性化される皆様のために一所懸命ご協力させていただきますので何卒宜しく御願います。



就任のご挨拶

国際ロータリー 第 2790 地区
2022-23 年度
奨学生・学友委員会 委員長
藤崎 康人 (成田コスモポリタン RC)

4月の奨学生選考会においてこの委員会に関与し、奨学生を海外に派遣するという本事業が素晴らしい事業であることに気付かされました。応募してくる候補生は皆、立派な経歴を持ち、優秀な学生です。ロータリーが目標とする、平和で争いのない世界を築く研究や勉強のため、海外留学を希望しています。ロータリー財団の使命は「ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」とされている、とあります。ロータリー財団奨学生には、奨学期間が終わっても、我々の仲間に加わって行動していただきたいと願っています。奨学金は地区補助金奨学生20,000ドル、グ

ローバル補助金奨学生が40,000ドルと高額ですが、財源は我々の寄付金が基になります。貴重な寄付金を有効活用するため、優れた人材を選びたいと考えています。今年度は、千葉県内の大学に、奨学生募集ポスターのURLのバーコードを各学生の端末に配信し、周知してもらうよう依頼する予定です。奨学生の応募に関するお問い合わせに関しては、応募要項、申請書、Q & A等が地区・委員会のホームページに掲載されますのでご利用ください。ぜひこの奨学金制度を活用していただき、地域や世界で活躍できる未来のリーダーと一緒に育てていきましょう。皆様のご協力をよろしくお願い致します。



就任のご挨拶

国際ロータリー 第 2790 地区
2022-23 年度
ロータリーポリオプラス委員会
委員長
松永 達人 (富里 RC)

ポリオという病気は非常に感染性が高い伝染病であり、特に5歳以下の子供がかかりやすいと言われています。神経を侵して永久的な筋力低下や麻痺をひきおこす恐ろしい病気です。そんなポリオという伝染病に立ち向かうポリオ根絶プログラムは国際ロータリーにとって必要不可欠な重要プログラムなのです。

2020年8月、アフリカ地域の野生型ポリオがついに根絶されました。これは歴史的快挙ともいえることであり、長年根絶活動を続けてきたロータリーにとって喜び、また励みになりました。そして昨年は世界中で症例数6人と感染減少を実現しました。根絶まで本当にあと一歩です。これからも世界中の子供たちとの約束を我々ロータリーが果たさなくてはなりません。

ポリオ根絶にはロータリアン一人ひとりの地道な活動・寄付が必要であります。当地区におきましては

一人当たり30ドルのご寄付また、自動的に寄付が実現されるロータリーカードへの加入をお願いしております。

第2790地区におきましては皆様のご尽力の結果、昨年度一人当たり30ドルの数字をクリアすることができました。心より感謝申し上げます。

そして今年度は10月23日(日)、世界ポリオデーとして成田国際空港にて第2790地区ロータリアンによるポリオ根絶啓蒙イベントを実施する予定です。各クラブでの取り組みの予定がない方、興味ある方は是非ともご参加ください。皆様にポリオ根絶活動を知ってもらえる最良の機会になると確信しております。

近い将来、世界中でのポリオ根絶を成し遂げ、皆さまと祝えることを信じ、誠心誠意取り組んでまいりたいと思います。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

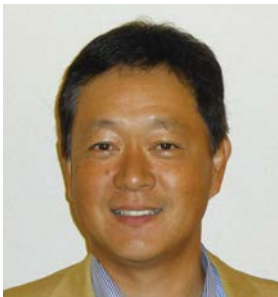


ロータリー 平和フェロー… 未来への希望

国際ロータリー 第2790地区
2022-23年度
ロータリー平和フェローシップ委員会
委員長
森正 浩造 (松戸 RC)

「ロータリー平和フェロー…未来への希望」ロータリー平和フェローシップは、平和の推進と紛争解決に貢献するリーダーを育成するためのロータリー財団奨学金プログラムです。このプログラムは、ポール・ハリス没後50周年を記念し2002年度よりスタートしましたが、まだ多くの会員に周知されていません。当委員会としては、今年も地道に広報活動に努めて参ります。今年「ロータリーの友」5月号に日本人平和フェローの井上悦子氏の記事が掲載されました。それ以来大変な反響がありまして平和フェローの卓話依頼が増えています。このプログラムを一人でも多くの方に知っていただく上で大きな宣伝となりました。さて毎年、世界中から選ばれた最高130名の優秀な平和フェロー(奨学生)は、ロータリーが提携する世界7ヶ所8大学内に設置されたロータリー平和センターにおいて、平和活動でのリーダーシップを発揮するための学問的かつ実践的な研究をしていま

す。日本では国際基督教大学(ICU)に開設され、世界平和に貢献する優れた活動家を世に送り出しております。世界ではいまだに、民族や宗教政争による内戦や内乱、テロ行為などが頻繁に起こり、一般市民を巻き込む悲惨な状況が生まれています。またロシアによるウクライナ侵攻以来、安全保障分野においては歴史的な転換点といえるでしょう。この様な世界情勢の中で、世界平和を願うロータリーが世に出したプログラムと平和フェローに大いに期待したいと思えます。今年度は19期生～21期生19名の平和フェローが来日します。そのうち2名を当地区が担当し、カウンセラーと共に生活面と精神面の支援をさせていただきます。日本人フェローは、プログラム開始以来38名(フェロー全体の2.5%)と世界的に見て少数でございますので、フェローの発掘にご協力を賜りたく存じます。また引き続きカウンセラーの推薦、ご寄付に何卒よろしくお願い申し上げます。



9月は『ロータリーの友月間』

『ロータリーの友』
編集企画3つのキーワード

国際ロータリー 第2790地区
2022-23年度
ロータリーの友委員会 代表委員
中澤 雅彦 (松戸 RC)

2022-23年度『ロータリーの友』編集企画としましては、3つのキーワードがございますのでご紹介させていただきます。

キーワード①「学べる」

新型コロナウイルス感染症の影響が続き、日本国内のロータリークラブでも会員数が減少傾向にあり、それに伴って例会の在り方、活動内容など大きな変化を余儀なくされています。こうした変化に各クラブがどのように対応していくか、事例や提案などを取り上げ、学べる『友』としての誌面づくりを心掛けていきます。

キーワード②「70」

『友』は2023年1月号で創刊70年を迎えます。これを記念し、特別企画の掲載を予定しています。『友』の歴史と合わせ、ロータリーの歩んだ活動、思想を振り返り、『友』への更なる関心とロータリー活動への関心を高められる記事を提供します。

キーワード③「DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)」

2022-23年度は、女性初のRI会長が就任しました。男性だけで始まったロータリーは今や国籍や性別、年齢の垣根を超え、多様性を重視する世界組織へと発展しました。RIではそのことを踏まえ、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)へのコミットメントを採択しており、『友』でもDEIを意識した企画、誌面づくりに努めていきます。

表紙は、障害者によるアート作品を掲載していきます。アートは健常者の特権ではありません。障害のあるなしにかかわらず、豊かな才能と表現で採られた作品を掲載することで、DEI推進に取り組むロータリーの在り方をアピールしていきます。

地区代表委員の役目は、ガバナーと共に活動情報を収集し、友誌への投稿を推進することです。是非ともクラブから様々な内容の投稿をお願い致します。

国際ローター第2790地区(千葉)出席・会員数報告(2022年6月分)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2021 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川	100.00	4	42	4	39	2	△3
	市川東	100.00	3	37	1	36	1	△1
	市川南	82.00	4	20	2	18	2	△2
	浦安	86.20	4	40	2	36	2	△4
	市川シビック	77.78	4	30	0	29	0	△1
	浦安ベイ	78.26	3	18	4	22	3	4
	平均	87.37	3.67	31.17	2.17	30.00	1.67	△7
第2グループ	船橋	87.50	4	29	0	28	0	△1
	船橋西	82.96	4	27	6	24	4	△3
	鎌ヶ谷	78.13	5	26	1	27	1	1
	船橋東	73.77	5	26	2	24	2	△2
	船橋南	77.27	4	13	2	12	2	△1
	船橋みなと	87.86	3	16	2	15	2	△1
	平均	81.25	4.17	22.83	2.17	21.67	1.83	△7
第3グループ	千葉	76.34	4	105	5	109	6	4
	新千葉	100.00	4	56	0	54	0	△2
	千葉西	88.95	4	47	5	45	5	△2
	千葉中央	100.00	4	25	1	24	1	△1
	千葉幕張	77.45	3	28	3	33	3	5
	千葉東	85.70	3	23	1	24	1	1
	千葉若潮	79.49	3	33	1	32	1	△1
平均	86.85	3.57	45.29	2.29	45.86	2.43	4	
第4グループ	千葉南	75.21	4	45	2	44	2	△1
	市原	54.52	2	65	5	74	5	9
	千葉港	90.91	2	22	2	24	4	2
	市原中央	58.29	3	40	1	35	1	△5
	千葉北	80.17	4	29	4	27	4	△2
	千葉緑	74.20	2	23	2	23	2	0
平均	72.22	2.83	37.33	2.67	37.83	3.00	3	
第5グループ	木更津	81.40	3	28	4	25	4	△3
	上総	68.33	4	14	0	15	0	1
	富津中央	78.78	4	31	3	32	4	1
	木更津東	76.81	4	41	7	41	6	0
	君津	62.00	3	56	5	56	6	0
	袖ヶ浦	89.82	4	25	3	23	3	△2
	富津シティ	87.50	4	12	1	16	1	4
平均	77.81	3.71	29.57	3.29	29.71	3.43	1	
第6グループ	館山	82.03	5	48	4	49	4	1
	鴨川	89.78	4	30	5	26	4	△4
	勝浦	95.33	3	36	4	34	4	△2
	千倉	80.00	1	4	2	5	2	1
	鋸南	91.66	2	13	2	11	1	△2
	館山ベイ	67.09	5	25	0	26	0	1
平均	84.32	3.33	26.00	2.83	25.17	2.50	△5	
第7グループ	茂原	78.79	4	53	3	52	4	△1
	東金	80.68	4	18	3	23	3	5
	大原	89.50	4	11	2	10	1	△1
	大多喜	92.85	2	8	1	7	1	△1
	成田空港南	86.24	3	24	0	27	1	3
	茂原中央	90.12	3	24	3	26	3	2
	大網	79.34	5	30	2	30	2	0
東金ビュー	76.67	3	10	1	10	1	0	
平均	84.27	3.50	22.25	1.88	23.13	2.00	7	


グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2021 7/1	女性	当月	女性	増減
第8グループ	銚子	84.23	5	37	4	36	3	△1
	旭	75.80	3	37	3	38	3	1
	八日市場	70.70	3	39	3	38	3	△1
	銚子東	72.80	4	30	3	28	3	△2
	平均	75.88	3.75	35.75	3.25	35.00	3.00	△3
第9グループ	佐原	78.12	4	42	0	43	0	1
	多古	75.00	4	17	0	17	0	0
	小見川	87.40	5	27	0	27	0	0
	佐原香取	93.33	3	20	0	20	0	0
平均	83.46	4.00	26.50	0.00	26.75	0.00	1	
第10グループ	成田	76.21	4	60	6	63	7	3
	八街	89.67	4	25	2	24	2	△1
	印西	79.82	5	10	1	11	1	1
	白井	87.87	3	12	1	11	1	△1
	富里	48.23	4	33	1	36	1	3
	成田コスモポリタン	64.18	5	70	0	68	0	△2
平均	74.33	4.17	35.00	1.83	35.50	2.00	3	
第11グループ	柏	69.44	4	63	9	60	8	△3
	我孫子	87.49	4	31	3	32	3	1
	柏西	85.09	3	57	3	54	5	△3
	柏東	71.20	4	32	4	29	4	△3
	柏南	83.45	4	38	9	36	9	△2
平均	79.33	3.80	44.20	5.60	42.20	5.80	△10	
第12グループ	習志野	76.25	5	30	1	27	1	△3
	八千代	86.86	4	54	0	53	0	△1
	佐倉	67.44	4	35	3	42	3	7
	八千代中央	81.03	3	25	1	19	1	△6
	四街道	68.38	3	27	4	25	4	△2
	習志野中央	71.94	4	42	5	42	5	0
	佐倉中央	68.18	5	22	6	14	4	△8
平均	74.30	4.00	33.57	2.86	31.71	2.57	△13	
第13グループ	松戸	95.82	5	60	0	57	0	△3
	松戸東	83.45	4	45	0	43	0	△2
	松戸北	77.38	4	32	0	35	1	3
	松戸中央	72.46	4	30	6	30	7	0
	松戸西	76.09	4	24	0	23	0	△1
	平均	81.04	4.20	38.20	1.20	37.60	1.60	△3
第14グループ	野田	78.02	4	56	6	56	4	0
	流山	77.19	3	16	3	19	4	3
	野田東	80.89	4	18	0	16	0	△2
	流山中央	67.50	2	19	1	20	1	1
	野田セントラル	89.05	4	22	1	20	1	△2
平均	78.53	3.40	26.20	2.20	26.20	2.00	0	

クラブ数 82RC		
2021年7月1日	地区会員数	2,643人
2022年6月末日	地区会員数	2,614人
2021年7月1日	地区女性会員数	202人
2022年6月末日	地区女性会員数	200人
当月平均出席率		79.23%
増減		△29
女性会員増減		△2

ローターレートのご案内

ローターレートのご確認につきましては、「地区HP」をご確認いただきますようお願い申し上げます。

↓地区 HP



叙勲・褒賞・表彰(敬称略)

瑞宝中綬章



林 孝二郎
(木更津東RC)

寄付者紹介(敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー(財団)



石川 邦紘
(成田コスモポリタンRC)



上代 修二
(八千代RC)



飯生 高一郎
(八千代RC)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



竹尾 白
(千葉南RC)
14回目



大岩 將道
(銚子RC)
8回目



石引 美貴
(市川南RC)
5回目



川崎 操
(市川南RC)
4回目



松尾 博之
(千葉南RC)
3回目

新ポール・ハリス・フェロー



長井 弘巨
(市川南RC)



渡邊 健敏
(習志野RC)

ポリオ・プラス



上野 聡
(市原RC)



平野 哲也
(市原RC)

冠名恒久基金



大倉 崇
(市原中央RC)

恒久基金シェア



檜垣 昌宏
(市原RC)

年次基金シェア



森嶋 康長
(船橋RC)



福原 義一
(市原RC)



平野 哲也
(市原RC)

米山功労者



石川 邦紘
(成田コスモポリタンRC)
82回目



小林 通成
(習志野RC)
20回目



竹尾 白
(千葉南RC)
15回目



吉田 裕成
(千葉南RC)
15回目



上代 修二
(八千代RC)
13回目



斎藤 昌雄
(千葉南RC)
11回目



上野 聡
(市原RC)
8回目



青木 忠茂
(船橋RC)
7回目



山崎 新一
(船橋東RC)
6回目



鈴木 美津江
(千葉南RC)
4回目



福原 義一
(市原RC)
3回目



檜垣 昌宏
(市原RC)
3回目



平野 哲也
(市原RC)
3回目



齋藤 良堯
(千葉南RC)
1回目



渡邊 健敏
(習志野RC)
1回目

新ロータリアン(敬称略)



仲江 謙二
(我孫子RC)
商業銀行
6月14日



石井 忠
(船橋西RC)
病院管理
6月24日



末吉 沙果
(千葉南RC)
証券業
7月1日



坂本 健
(柏西RC)
舗装工事業
7月1日



村中 伸幸
(松戸東RC)
電気工事
7月1日



細浦 孝雄
(習志野中央RC)
舞台装置
7月2日



河手 正直
(習志野中央RC)
管工事業
7月2日



中西 秀治
(習志野中央RC)
環境衛生事業
7月2日



土屋 晃一
(習志野中央RC)
郵便局
7月2日



鈴木 康生
(旭RC)
水産物総合問屋
7月4日



大浦 雅己
(野田RC)
醤油醸造
7月4日



川村 正徳
(我孫子RC)
不動産賃貸業
7月5日



渡邊 孝太
(大網RC)
弁護士・弁理士
7月6日



神田 忠幸
(野田セントラルRC)
不動産賃貸業
7月6日



小熊 達也
(木更津RC)
情報通信事業
7月7日



二木 伸幸
(木更津RC)
為替銀行
7月7日



石橋 英樹
(千葉南RC)
信用金庫
7月15日



柳澤 亮
(柏南RC)
とび・土木工事
7月26日



有賀 誠
(松戸RC)
地方銀行
7月27日



掃部 圭佑
(松戸RC)
証券業
7月27日

物故会員(敬称略)



相川 修(松戸西RC)

逝去日:2022年7月5日

(享年82歳)

ロータリー歴:1996-97 クラブ会長



伊地知 瑞夫(千葉若潮RC)

逝去日:2022年7月25日

(享年78歳)

ロータリー歴:2000-01 クラブ会長



宮 寛(柏南RC)

逝去日:2022年7月28日

(享年76歳)

ロータリー歴:1995-96 クラブ会長

2012-13 ガバナー補佐

国際ロータリー 第2790地区 2022-23年度主要会議日程表

2022.8.10 現在

日付	曜日	名称	時間	会場
9月 3日	土	RLI第1回ブラッシュアップ研修会	13:00~17:00	千葉市民会館
9月13日	火	インターアクト第2回合同会議・第3回顧問会議		千葉市民会館
9月17日	土	財団セミナー	13:30~16:00	TKPガーデンシティ千葉
9月24日	土	米山梅吉記念館研修旅行		
9月25日	日	米山奨学生・カウンセラー観劇会		サントリーホール
10月 1日	土	研修系3委員会合同セミナー	13:00~17:00	TKPガーデンシティ千葉
10月 1日	土	RLI第2回ブラッシュアップ研修会	13:00~17:00	千葉市民会館
10月 8日	土	地区大会 1日目	13:00~17:00	ホテル ザ・マンハッタン
10月 8日	土	RI会長代理歓迎晩餐会	17:30~20:00	ホテル ザ・マンハッタン
10月 9日	日	地区大会 2日目	9:00~17:00	東京ベイ幕張ホール
10月23日	日	地区ポリオデー	13:30~16:30	成田国際空港
11月12日	土	RLI第3回ブラッシュアップ研修会	13:00~17:00	千葉市民会館
11月26日	土	米山学友会クリスマス会		三井ガーデンホテル千葉
1月 9日	月	米山奨学生新年会		
1月14日	土	新春講演会研修系3委員会合同セミナー	13:30~15:30	TKPガーデンシティ千葉
1月28日	土	補助金管理セミナー	13:00~17:00	TKPガーデンシティ千葉
2月 4日	土	RLIパート I	9:00~17:00	千葉市民会館

国際ロータリー 第2790地区 研修系3委員会合同セミナー

日時 2022年10月1日(土) 13:30～受付開始(14:00点鐘16:00閉会予定)
会場 TKPガーデンシティ千葉4階 コンチェルト

テーマ 「もっとロータリーを知り、もっと元気なクラブを目指そう！」
趣旨 小倉ガバナーが提唱する「元気なクラブ作り」のための情報提供

セミナー概要 ・ロータリーの原点を振り返る。
・ロータリーの現状を把握し、将来の方向を探る。
・いかにしてクラブの現状把握をし、将来を計画するか？

参加対象 ・会長、幹事、研修リーダー、職業奉仕委員、ロータリー情報委員、
その他希望者(各クラブ3名まで)
・各グループガバナー補佐(各クラブ支援のため)

主催 ・小倉ガバナー
・得居研修リーダー
・3委員会:職業奉仕委員会、ロータリー情報委員会、ロータリー研修委員会

※尚、コロナの感染状況によっては、開催中止等予定が変更となる場合があります。その場合にはあらためてご案内致します。

国際ロータリー 第2790地区 2022～2025年 地区ビジョンと戦略計画(草案)

地区ビジョン

私たちは、ロータリーの「奉仕の理念」に基づき、
ロータリーを楽しみながら、地域社会でそして世界で、
持続可能なより良い未来を目指して、奉仕を実践し、行動していきます。

地区は、クラブを支援するために、以下の戦略計画を実施します。

戦略計画

- 1 クラブを元気にするために、DEIを尊重し会員基盤を拡充する。
- 2 地域社会の将来を担う青少年育成活動に取り組む。
- 3 中核的価値観に従って行動し、ロータリーの公共イメージを向上させる。
- 4 地域及び国際社会のニーズに沿った奉仕活動を考え、参加者の基盤を広げる。
- 5 クラブのビジョンと戦略計画の策定を奨励し推進する。

国際ロータリー第2790地区

世界ポリオデー

千葉から世界へ発信しよう
ポリオ根絶の集い開催



2022 (日)

10/23

成田国際空港

第2ターミナル前中央広場

当日スケジュール

- 12:30 集合受付
- 13:30 セレモニー開会
- 15:00 広報活動(チラシ配布)
- 16:00 展望デッキにて記念撮影
- 16:30 解散

第2790地区オリジナルPV上映

NAA協力による成田空港ターミナル内モニターでの2790地区オリジナルPV上映

ポリオ広報活動

有志クラブロータリアン、地区委員、校友会、米山奨学生にてポリオ広報活動

成田国際高校吹奏楽部による演奏会

平和への祈り、ポリオのない世界を

成田国際高校ダンス部

ポリオ根絶、圧倒的なパフォーマンス

バルーンアート

バルーンアート世界選手権一位の大悟氏によるポリオバルーンアートモニュメントの作成。
撮影した写真や動画をSNSで発信しよう!

国際ロータリー
第2790地区
公式HP



友達募集中
公式LINEアカウント



イベント会場



※雨天またはコロナの感染状況によっては一部変更もございます。



【主催】国際ロータリー 第2790地区 【協力】成田国際空港株式会社
お問合せ 国際ロータリー 第2790地区ガバナー事務所 ☎043-284-2790

2022-23年度 第2790地区大会開催 第二日目「大物産展」 “千葉から世界を変えるフェスタ”への出展協力をお願い

「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう！」という今年度、地区スローガンの下、その実践の機会として、ロータリアンの親睦と交流、相互理解を図ると共に、コロナで疲弊した地域経済の活性化のきっかけ作り、さらにロータリー奉仕活動に関連する寄付活動への理解を促進することを目的とした「千葉から世界を変えるフェスタ」地元物産の展示販売、寄付促進ブースを設置するイベントを企画しました。地区内、ロータリアンの企業様より出展者を募集いたしますので、奮ってご参加ください。

記

日 時： 2022年10月9日(日)(地区大会2日目)9時～17時

場 所： 東京ベイ幕張ホール(千葉市美浜区ひび野2-3)2階

募集内容： 県内産品の販売(冷蔵品、試食不可) 33ブース

※各グループから2社程度の申し込みをお願いしています。

〈ブース規格〉

占有スペース(1ブースあたり240cm×180cm、机含む)

机(90cm×180cm)×1、椅子×1

- ・展示は机上に、在庫は占有スペース内に置ける範囲でお願いいたします。
- ・商品の大きさなどから大きなスペースが必要である場合、机を2台にいたしますので、お申し出ください。
- ・会社名は店舗奥壁上部にA3サイズの紙にて掲示します。持ち込み可能。
- ・ブースの配置(出店場所)は実行委員会にご一任いただきます。

〈搬出入〉

搬入→当日7時から8時30分まで。前日指定宅急便受取可能。

搬出→当日19時まで。

(宅急便宛先)〒261-0021千葉市美浜区ひび野2-3 東京ベイ幕張ホール
ロータリー地区大会物産展係 宛 電話043-296-1112

使用車両は1台まででお願いいたします。

〈申し込み締め切り日〉

予定ブース数に達し次第、締め切りとさせていただきます。

〈問い合わせ先〉

各グループ担当ガバナー補佐、ガバナー事務所

大物産展概要

「ちばから世界を変えるフェスタ」 (千葉物産展・寄付促進ブース)

参加ロータリアンに500円のクーポン券3枚(合計1,500円)を配布し、現金と併用して会場内で物品の購入、寄付に使用可能といたします。

- ①ロータリアンの会社による県内製品の販売(33ブースを予定)
- ②米山記念奨学会への理解を深める展示・寄付募集(1ブース)
- ③ロータリー財団への理解を深める展示・寄付募集(1ブース)
- ④ロータリー財団を通じウクライナに対する支援への展示・寄付募集(1ブース)
- ⑤青少年奉仕・地区学友委員会より「ロータリー希望の風」支援(1ブース)

〈開催時間とクーポン券について〉

開店時間 9時～17時

・参加者には500円クーポン券3枚を配布、現金併用可

〈使用したクーポン券の取り扱い〉

各店舗に当日配布する指定の袋に枚数金額を記入の上ご提出いただき、後日実行委員会より振り込みにより精算します。寄付に使用するクーポン券は、寄付者をクラブ単位とさせていただきますので、クーポン券にクラブ名のご記入をお願いいたします。

〈その他〉

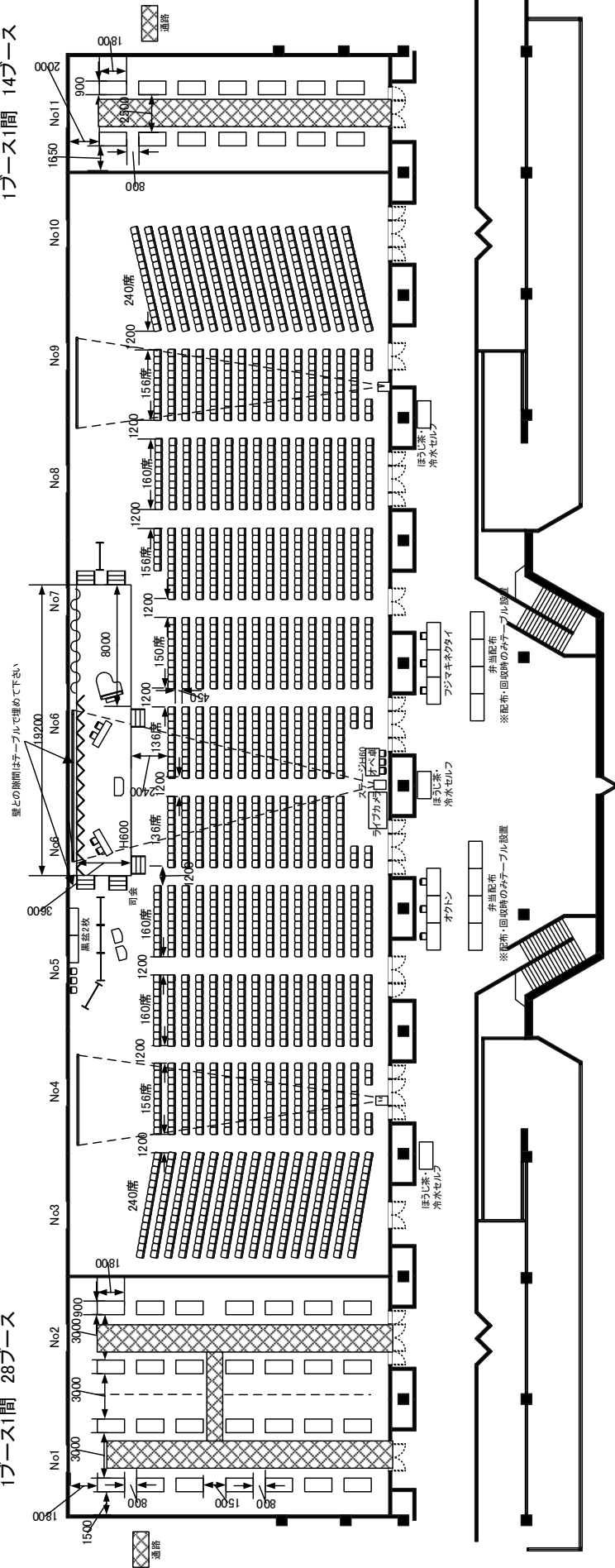
- ・出展料はありません。
- ・コロナ感染症対策のため試食はできません。
- ・冷蔵ケースは設置できません。
- ・宅急便対応は翌日以降、各社でお願いします。現地集荷はできません。

2022年10月9日(日)
国際ロータリー第2790地区 地区大会 御席

本会議場
幕張ホール9スパン(No3~10)
1850席

物産展
幕張ホール2スパン
(No1~2)
1ブース1間 28ブース

物産展
幕張ホール1スパン
(No11)
1ブース1間 14ブース



- 3×6テーブル×7本 スタッキング13本
- ハイカン×1本
- 表彰者受付
- 受付

1階正面玄関 風除室



2022-23年度
国際ロータリー第2790地区

地区大会

IMAGINE ROTARY 「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、
千葉から世界を変えていこう！」

2022年
10月8日(土) ホテル ザ・マンハッタン
9日(日) アパホテル&リゾート
東京ベイ幕張ホール



松戸 本土寺



松戸 二十世紀梨

ご挨拶

国際ロータリー第2790地区ガバナー
小倉純夫 (松戸ロータリークラブ)

まだまだコロナの影響はありますが、3年ぶりの2日間開催で企画しました。地域の元気を集め、世界を変えていくきっかけの一日としたいと思います。どうぞお集まりください。



ご挨拶

地区大会実行委員長 **中山政明**

実行委員の叡智を結集し、地区の伝統を重んじながら新たな工夫を尽くしたつもりでございます。地区内ロータリアンのご協力を賜り、当日を迎えたいと念じております。どうぞご参集ください。お待ち申し上げます。



10月9日(日) 同時開催 9:00~17:00

「千葉から世界を変えるフェスタ」
(千葉物産展・寄付促進ブース)

★参加者には特典があります。
★ロータリアンから出展者を募集しています。

Schedule

1日目 2022年10月8日(土)

会場: **ホテル ザ・マンハッタン**

- 12:30 受付
- 13:00 開会点鐘
- 16:30 閉会点鐘
- 16:30 RI会長代理歓迎晩餐会 受付
- 16:45 開会
- 18:45 閉会

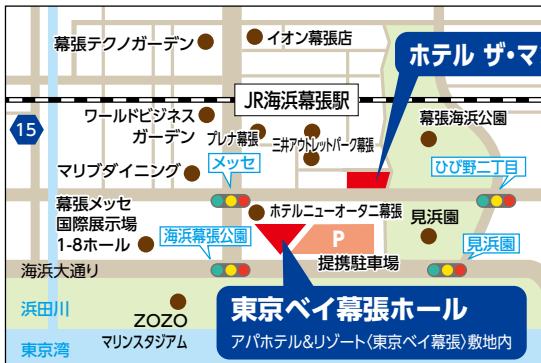


2日目 2022年10月9日(日)

会場: **アパホテル&リゾート**

東京ベイ幕張ホール

- 8:30 受付
- 9:30 開会点鐘
- 12:20 演奏「大原保人スーパー・ジャズ・カルテット
specialguest 渡辺真知子」
- 14:00 記念講演 俳優 高橋英樹
- 16:00 閉会点鐘



ホテル ザ・マンハッタン
〒261-0021 千葉市美浜区ひび野2-10-1
TEL 043-275-1111 FAX 043-275-1197

アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張ホール
〒261-0021 千葉市美浜区ひび野2-3
TEL 043-296-1112 FAX 043-296-1512

